

## 注意

前年度の入試情報となります。  
新しい情報は随時公開いたします。



# 受験に関する Q&A

## 共通

Q 試験地による有利・不利はありますか？

A 全試験地で、同じ試験問題を使用しますので、試験地による有利・不利は生じません。

Q 現役・既卒で合否判定に有利・不利はありますか？

A 現役・既卒の違いによる合否の有利・不利は一切ありません。

Q 出願後に内容の変更はできますか？

A 出願確定後は「学部・学科・専攻」「試験地」「試験日」「入試型・方式」の変更は一切認めていません。ただし、出願確定後でも、出願期間内であれば、追加で出願できます。試験日程や出願学部、入試方式等は慎重に選び出願してください。なお、住所等の変更が生じた場合は、入試部まで申し出てください。

Q 試験日自由選択制について教えてください。

A 試験日と学部・学科・専攻を自由に選んで受験できます。同一学部・学科・専攻を複数日受験できます。

Q 合格発表の方法について教えてください。

A 合格者には合格通知書を合格発表日に郵送します。公募推薦入試、一般入試、センター試験利用入試は、発表日の正午から「WEB(パソコン・携帯電話)による合格結果通知」「電話による合否自動応答システム」でも確認できます。発表日から入学手続Iの締め切り日まで(一般入試(C日程)・センター試験利用入試(後期募集)は入学手続の締め切り日まで)実施しています。

Q 先に受験した公募推薦入試で合格した学部に入学金として入学申込金を納めています。その後、一般入試で他の学部で合格しましたが、新たに合格した学部に入学金を納めたいのですが、もう一度入学申込金を納入しなければなりませんか？

A 本学では、入学時納入金充当制度(P.14参照)を導入していますので、この場合、入学申込金を二重に納入する必要はありません。その際の手続方法等は合格通知書とともにお知らせします。安心して自分の志望する学部の合格をめざし、自分にあった入試にチャレンジしてください。

Q 身体等に障がいがあります。受験時に「受験上の配慮」はありますか？

A 身体等に何らかの障がいがあり、受験時に「受験上の配慮」を希望する場合は、2018年度入学試験要項に基づき手続きを行ってください。

Q 高等学校卒業程度認定試験に合格しています。出願する際に必要な出願書類について教えてください。

A 高等学校卒業程度認定試験に合格し、出願される場合は、文部科学省発行の「合格証明書」または「合格成績証明書」を提出してください。

Q 朝鮮高級学校を卒業しました。一般入試とセンター試験利用入試を受験するつもりです。出願にあたって、必要な書類について教えてください。

A 本学では、日本にある朝鮮高級学校12校を卒業した者、および卒業見込み者について入学資格(受験資格)を認めています。出願の際は、卒業(見込み)証明書と調査書(または成績証明書)を提出してください。センター試験利用入試に出願する場合は、平成30年度大学入試センター試験に出願し、2018年1月に実施される試験を受験する必要があります。また、本学では現在、文部科学省が大学入学資格を認めている外国人学校に加え、本学独自に入学資格を認めている学校がありますので、入学試験要項でご確認ください。

Q 受験料返還制度について教えてください。

A 「一般入試(A日程)」または「センター試験利用入試(前期募集)一般入試併用型」で合格した学部・学科・専攻に「一般入試(B日程)」または「センター試験利用入試(中期募集)一般入試併用型」においても出願しており、「一般入試(B日程)」または「センター試験利用入試(中期募集)一般入試併用型」の本学独自試験を1科目も受験しなかった場合、本人からの申請により、当該受験料から1,000円(返還に係る手数料・税込)控除した額を返還します。なお、申請方法は合格通知「一般入試(A日程)・センター試験利用入試(前期募集)」でご案内します。当該受験料とは、「一般入試(B日程)」・「センター試験利用入試(中期募集)一般入試併用型」のうち、「一般入試(A日程)」または「センター試験利用入試(前期募集)一般入試併用型」で合格した学部・学科・専攻分を指します。注:センター試験利用入試で大学入試センター試験の成績のみの型は対象となりません。

## 公募推薦入試について

Q 出願資格として調査書(全体の評定平均値)に基準点はありますか？

A 2教科型公募推薦入試では調査書(全体の評定平均値)に基準点はありません。その他の公募推薦入試については、それぞれの入試により異なります。詳細は、各学部ページの「出願資格」を参照してください。

Q 同一試験日に、同じ学部・学科・専攻に、2出願(併願)できますか？

A 2教科型公募推薦入試では同一試験日に、スタンダード方式・高得点科目重視方式、配点セレクト(数学重視・理科重視)方式・2科目方式の中から学部に対応した同一型の2つの入試方式を使い、同じ学部・学科・専攻へ2出願することができます(P.9参照)。

Q 2教科型公募推薦入試で農学部に出願できる入試型・方式について教えてください。

A 農学型スタンダード方式と農学型2科目方式では農学部のすべての学科に出願することができます。文系型入試では、資源生物科学科、食料農業システム学科のみ、文系型スタンダード方式で出願できます。食料農業システム学科は文系型高得点科目重視方式、文系型2科目方式でも出願できます。

Q 同一試験日に、複数の学部・学科・専攻に、または同一学部の異なる学科・専攻に出願(併願)できますか？

A 2教科型公募推薦入試では同一試験日に、1つの入試型・方式を使って、複数の学部・学科・専攻に出願することができます(P.9参照)。\*試験日が異なれば、学部・学科・専攻および入試型・方式を問わず出願が可能です。

Q 2教科型公募推薦入試と学部独自推薦入試を両方受験することはできますか？

A 試験日が異なれば受験できます。

Q 公募推薦入試は、高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者および大学入学資格検定合格者でも受験は可能ですか？

A 専門高校等対象推薦入試以外の入試は受験できます。なお、2教科型公募推薦入試(2科目方式を除く)は、科目の点数に調査書(全体の評定平均値)の10倍の点数を加算し、総合点で合否判定します。高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者および大学入学資格検定合格者については、全体の評定平均値を一律3.5とし、その10倍の35点を調査書の点数として、科目の点数に加算します。

Q 2教科型公募推薦入試の合否判定について教えてください。

A 原則として、学部・学科・専攻ごとに各入試型・方式の受験数をもとに募集人員を按分し、入試型・方式ごとに合否判定します。

Q 公募推薦入試で合格した後に一般入試やセンター試験利用入試への出願はできますか？

A 出願できます。本学の公募推薦入試は専願制ではありませんので、合格した後に一般入試やセンター試験利用入試に出願することができます。特に一般入試(A日程・B日程)や、センター試験利用入試(前期募集)では入学試験成績優秀者を対象にしたアカデミック・スカラシップ奨学生(予約採用型)(P.15参照)がありますので、ぜひチャレンジしてください。

## 一般入試について

Q A日程、B日程の選択科目について教えてください。

A 文系型対象学部を選択科目は、「日本史B」「世界史B」「政治・経済」「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」から1科目選択です(ただし、「政治・経済」はA日程のみ選択できます)。

理工学部の理科は、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目選択です(ただし、「生物基礎・生物」を選択できる者は、環境ソリューション工学科の志願者に限ります)。  
農学部の理科は、「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目選択です。

Q A日程、B日程において選択科目は出願時に解答する科目を届け出る必要はありますか？

A 出願時に届け出る必要はありません。試験時に選択してください。理工学部、農学部の理科も同様です。

Q A日程、B日程において試験日が異なれば出題される問題の難易度は変わりますか？  
また、選択科目によって有利・不利はありますか？

A 本学の入試問題は、試験日や科目によって難易度に差が生じないよう質・量に配慮して作成し、不公平が生じないようにしていますので、試験日や選択科目による有利・不利はありません。もし、同一に判定する試験日程の試験日間や選択科目間で著しく平均点に差が生じた場合は、得点調整を行います。

Q A日程、B日程、C日程の合否判定について教えてください。

A 原則として、学部・学科・専攻ごとに各入試型・方式の受験数をもとに募集人員を按分し、入試型・方式ごとに合否判定します。

Q A日程、B日程の文系型高得点科目重視方式はどんな入試ですか？

A 3科目(英語・国語・選択科目)のうち、高得点科目1つの点数が自動的に2倍になります。得意な科目がある受験生におすすめです。

●文系型高得点科目重視方式 ※高得点科目が「英語」だった場合

英語200点 + 国語100点 + 選択科目100点

Q 理工型配点セレクト(数学重視・理科重視)方式はどんな入試ですか？

A 数学重視または理科重視を出願時に選択し、受験することができます。重視する科目の点数が2倍になりますので、得意な科目がある受験生におすすめです。

●数学重視方式

英語100点 + 数学200点 + 理科100点

●理科重視方式

英語100点 + 数学100点 + 理科200点

なお、理科重視方式は、学科により理科の重視科目(物理・化学・生物)に指定があります。出願時に注意が必要です。

Q 同一試験日における理工型配点セレクト理科重視方式の学科併願について教えてください。

A 物理を選択する場合は、理工学部の6学科いずれの学科同士の組み合わせでも併願(3出願)が可能です。化学を選択する場合は、「物質化学科」と「環境ソリューション工学科」の併願(2出願)のみ可能で、それ以外はできません。生物を選択する場合は、学科併願はできません。「環境ソリューション工学科」のみの出願(単願)になります。選択する科目によって併願できる学科が異なります。ご注意ください。

Q 一般入試で農学部に出願できる入試型・方式について教えてください。

A A日程・B日程の農学型4教科方式と農学型3教科方式、C日程の農学型スタンダード方式では農学部のすべての学科に出願することができます。A日程の文系型スタンダード方式、文系型高得点科目重視方式では植物生命科学科、資源生物科学科、食料農業システム学科に出願できます。食料農業システム学科についてのみ、A日程に加え、B日程・C日程の文系型スタンダード方式、文系型高得点科目重視方式でも出願できます。

Q 同一試験日に、複数の学部・学科・専攻または同一学部の異なる学科(専攻)に出願(併願)できますか？

A 同一試験日に、1つの入試型・方式を使って、複数の学部・学科・専攻に出願することができます(P.9参照)。

Q 同一試験日に、農学部と他の学部に出願(併願)できますか？

A 共通の入試型・方式を実施している学部・学科には出願(併願)することができます。農学部には農学型と文系型の2種類の入試型があり、文系型を使うことで他の文系学部にも出願(併願)ができます。理工学部とは共通の入試型がありませんので出願(併願)できません。2教科型公募推薦入試、一般入試ともに、出願(併願)できない組み合わせがあります。詳しくは本紙P.9をご覧ください。

Q 同一試験日に、1つの学部・学科・専攻に、2出願(併願)できますか？

A A日程・B日程・C日程では同一試験日に、同一型の2つの入試方式を使って同一学部・学科・専攻に2出願することができます。文系型対象学部は文系型スタンダード方式と文系型高得点科目重視方式を使い、同じ学部・学科・専攻へ2出願することができます。理工学部は理工型スタンダード方式と理工型配点セレクト(数学重視または理科重視)方式を使い、同じ学科へ2出願することができます。農学部は、農学型4教科方式と農学型3教科方式を使い、同じ学科へ2出願することができます(P.9参照)。

●試験日が異なれば、学部(学科・専攻)および入試型・方式を問わず出願が可能です。

●学部・学科によって実施する入試型・方式が異なりますので注意してください。

●短期大学部は文系型スタンダード方式のみの実施のため、1出願になります。

●C日程の農学型はスタンダード方式のみの実施のため、1出願になります。

Q 他の入試に出願はできますか？

A センター試験利用入試や公募推薦入試といった他の入試にも出願ができます。

## センター試験利用入試について

Q 大学入試センター試験以外に龍谷大学の個別学力試験はありますか？

A 大学入試センター試験を利用する入試には前期募集・中期募集・後期募集があります。このうち、前期募集・中期募集は、大学入試センター試験の成績のみを利用して合否を判定するものと、一般入試併用型(本学独自試験と大学入試センター試験の成績の総合点で合否判定するもの)があります。後期募集は個別学力試験などを課さず、大学入試センター試験の成績のみを利用して合否を判定します。

Q センター試験利用入試(中期募集)は、どのような試験なのですか？

A 大学入試センター試験の成績のみを利用して合否を判定するものと、一般入試併用型(本学独自試験と大学入試センター試験の成績の総合点で合否判定するもの)があります。本学独自試験は、一般入試(B日程)(2月12日(月・休)・2月13日(火)試験日自由選択制)と同一試験日、同一問題です。出願時に学部・学科・専攻と本学独自試験日を選択してください。ただし、必ず学部・学科が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験している必要があります。

Q 他の入試に出願はできますか？

A 一般入試や公募推薦入試といった他の入試にも出願ができます。

Q センター試験利用入試で複数出願はできますか？

A できます。ただし、出願しようとする学部(学科・専攻)が利用する「解答すべき教科・科目」を大学入試センター試験で受験している必要があります。また、センター試験利用入試は前期募集・中期募集・後期募集があり、「解答すべき教科・科目」が異なることがありますので、大学入試センター試験の受験科目の選択は慎重に行ってください。なお、「解答すべき教科・科目」のうち1科目でも受験しなかった科目があれば、欠席扱いとし合否判定を行いませんので注意してください。この場合、受験料は返還いたしません。

Q センター試験利用入試で「解答すべき教科・科目」のうち、選択科目を所定の科目数以上受験している場合の合否判定はどうなりますか？

A 高得点順に教科・科目を採用し、合否判定します。

Q 過年度の成績を利用できますか？

A できません。2018年1月13日(土)・14日(日)に実施される大学入試センター試験の成績のみ有効です。